

生物学	生物学
-----	-----

[講義] 第1学年 前期 必修 2単位

《履修上の留意事項》【面接授業と遠隔授業の併用実施】

《担当者名》准教授 / 近藤 朋子

【概 要】

歯科医学教育においては、生命科学に関するさまざまな学問分野を学習しなければならない。これらの分野を円滑に学習し、その理解を深めていくためには、はじめに生物学に関しての基礎的な知識や考え方を確実に習得しておくことが必須である。本講義は、歯科医学を学ぶうえで必要な生物学の基礎力をつけるために、生命現象を生命の単位である細胞を中心としてその構造と機能について基本的知識を身につけることにより理解することを目的とする。

【学習目標】

細胞小器官・細胞・組織・器官についてその種類と基本構造の特徴を列記する。
 生体有機物質の基本構造とその性質を説明する。
 染色体と遺伝子の関係を述べ、細胞分裂の基本的な仕組みを説明する。
 DNAの複製・転写・翻訳の仕組みについてその概要を列記する。
 ヒトの発生の仕組みを説明する。
 酵素の基本性質と働きを列記する。
 ATPとは何か、また、ATPエネルギー獲得系・消費系の概要を説明する。
 歯学での種々な生命科学の教科を円滑に学習できるための基本的な知識を身につける。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	生物とは 1. 生物とは 2. 細胞の構造と機能	- ヒトをはじめすべての生物体は、細胞を構成単位とすることを理解する。 - 細胞は様々な細胞小器官からなることを知る。 - 原核細胞と真核細胞の構造の特徴を理解する。 - 動物・植物・微生物の細胞について、それらの構造の違いを知る。	近藤 朋子
2	生体を構成する分子 1. タンパク質 2. 脂質	- 生体を構成している物質はタンパク質、糖質、脂質及び核酸からなることを知る。 - 生体内の物質の生合成、代謝、異化を司る物質は酵素であり、酵素自体はタンパク質であることを学ぶ。 - 脂肪はエネルギー源と膜構造の成分であることを理解する。	近藤 朋子
3	生体を構成する分子 1. 糖質 2. 核酸	- 糖質の構造と役割を学ぶ。 - 核酸は大別するとデオキシリボ核酸（DNA）とリボ核酸（RNA）からなることを知る。 - 核酸の構造と機能について学ぶ。	近藤 朋子
4	細胞の構造とはたらき 1. 細胞小器官の構造と働き	細胞小器官の構造とはたらきを学ぶ。	近藤 朋子
5	細胞の構造とはたらき 1. 細胞膜を介した物質輸送	- 細胞膜の構造と性質を学ぶ。 - 細胞膜を介した物質の輸送、生体情報の受容、伝達について学ぶ。	近藤 朋子
6	生体とエネルギー代謝 1. エネルギー代謝 2. ATPの産生	- 生命現象の根底にある物質代謝の概要を知り、物質代謝にはエネルギー代謝が伴うことを学ぶ。 - ATPエネルギー獲得系（細胞呼吸）と消費系（能動輸送など）の概要を学ぶ。	近藤 朋子
7	生体とエネルギー代謝 1. 嫌気呼吸と好気呼吸	嫌気呼吸と好気呼吸の概要を学ぶ。	近藤 朋子
8	細胞の増殖 1. 細胞周期	- 細胞周期とその制御機構について学ぶ。 - 体細胞分裂について学ぶ。	近藤 朋子

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
	2. 細胞分裂 中間のまとめ		
9	生殖と発生 1. 減数分裂 2. 生殖細胞の形成 3. 受精	- 減数分裂の意義と過程について学ぶ。 - ヒトの卵子、精子の形成を学ぶ。 - 受精の機構を知る。	近藤 朋子
10	生殖と発生 1. 初期発生 2. 器官形成	一個の受精卵から細胞分裂を繰り返し、多細胞動物の個体が形成される過程を学ぶ。	近藤 朋子
11	細胞老化と細胞死 1. 細胞の老化と寿命 2. 細胞死	- 細胞の老化、寿命についての概要を知る。 - 細胞の増殖、死について理解する。 - アポトーシスとネクローシスの違いについて学ぶ。 - 嫌気呼吸と酸素呼吸の概要を学ぶ。	近藤 朋子
12	遺伝子複製と発現 1. 遺伝子としてのDNA 2. セントラルドグマ	- 遺伝子の化学的本体がDNAであることは、どのようにして明らかにされたかを学ぶ。 - 遺伝子が塩基配列としてもっているのは、どのような並び方をしたアミノ酸からなるタンパク質をつくるかの情報であることを理解する。 - 遺伝子と染色体の関係を理解する。	近藤 朋子
13	遺伝子複製と発現 1. DNAの複製	- 細胞分裂におけるDNAの複製の役割を理解する。 - DNAの複製の過程について学ぶ。	近藤 朋子
14	遺伝子複製と発現 1. 転写 2. 翻訳	- RNAの種類と働きについて学ぶ。 - DNAの転写、翻訳の過程について学ぶ。	近藤 朋子
15	まとめ	- 生物のなりたち（細胞の構造、細胞の増殖、生殖と発生、遺伝の法則）のまとめ - 生物の構成成分、酵素と代謝、遺伝子複製と発現に関するまとめ	近藤 朋子

【評価方法】

定期試験（70％）、中間テスト（20％）、授業への参加態度（レポート課題など）（10％）
→ 課題提出 100％により評価

【備 考】

教科書：「医療・看護系のための生物学」 田村 隆明著 裳華房

参考書：「基礎から学ぶ 生物学・細胞生物学」 和田 勝著 羊土社
「FUNDAMENTAL細胞生物学」坂口 実 著 京都廣川書店

【学習の準備】

予習として、シラバスに示してある講義内容に該当する教科書の部分を事前に読んでおくこと。（80分）
教科書とともに講義で配付するプリント、ノート、復習問題を用いて復習すること。（80分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を習得するために必要な基礎知識を生物学の観点から修得する（専門的実践能力）。

DP3. 疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して自己の専門領域を発展させる基礎能力を生物学の観点から身につける（自己研鑽力）。

DP5. 歯科医療の専門家として、地域的および国際的な視野で活躍できる能力を身につけるために必要な基礎知識を生物学の観点から修得する（社会的貢献）。